

## 日露投資フォーラムにおけるジェットロ渡辺理事長 (基調報告)

2006年9月6日 於ロシア サンクトペテルブルク市

(はじめに)

ただいまご紹介にあずかりましたジェットロの渡辺でございます。

アンドロソフ経済発展貿易省次官閣下、マトビエンコ・サンクトペテルブルク市知事閣下、松経済産業副大臣閣下並びにご来場の皆様、「日露投資フォーラム」の開催にあたり一言ご挨拶申し上げる機会を賜り、大変光栄に存じます。

(1. ロシアビジネス投資ミッション)

ジェットロでは、このたび、私が団長を務めます48名からなる「中小企業投資ビジネスミッション」を編成し、ロシアに参りました。

今回のミッションは、中小企業が過半を占め、うち60%は、自動車等輸送機器、化学、電気機器、その他機械といった製造業で、これに物流、商社、サービス業等で構成されています。また、欧州にある日系企業も参加するなどユニークなミッションとなっています。

モスクワでは、2日間にわたり、自動車、家電のショールームをはじめ、経済特区の視察や企業訪問を行い、本日は、この「日露投資フォーラム」に全員で参加しました。そのあと、当地の工業団地視察や日系の企業訪問を予定しております。その後再びモスクワに戻り、ミッションの締めくくりとして、在モスクワの進出日系企業との意見交換会を行うスケジュールです。

(2. ジェットロ中小企業投資ミッション)

ジェットロでは、このようなミッションを最近のインドをはじめ、インドネシア、ベトナムなど、わが国中小企業の関心が強くビジネスポテンシャルが高い国々に派遣し、その後のフォローアップを通じて、大きな成果をあげてきております。

2002年に大規模なミッションを中国に派遣し、これが一つの契機となって、その後の中小企業の対中投資の大きな流れができました。

### (3. ジェトロの紹介と事業活動)

ジェトロは、海外55カ国に73の事務所をもち、日本と諸外国との貿易・投資を促進する政府関係機関です。

1958年に設立されました当時は、「輸出振興」によって日本経済を復興することがジェトロに課せられた至上命題でしたが、1980年代には、激化する日本と欧米諸国との貿易摩擦の中にあって「輸入促進」に重点を移してまいりました。

そして近年は、わが国中小企業の海外投資の支援や諸外国からの対日投資の促進を中核に、発展途上国の裾野産業の育成や諸外国との民間企業の産業技術交流の促進等、幅広い活動を総合的に行っております。

ロシアについては、モスクワの事務所設立が1992年であり、活動の歴史は比較的浅いわけですが、90年代のロシアの市場経済化の進展に伴い、その活動範囲を拡大してまいりました。

最近では、日本の自動車メーカー進出の動きを見据え、数年前から、ロシアの自動車部品メーカーの実態調査を行うとともに、業界関係者の日本への招へいを実施する等、日本企業とのコンタクトを強化し、昨年9月には、日本自動車部品工業会ミッションの派遣や日ロ双方の自動車部品工業会の協力強化のためのMOUの締結などを側面的に支援してまいりました。

さらに現在欧州には、約1,000にのぼる日系企業の製造拠点があるわけですが、これら日系企業の対ロシアビジネス促進のため、西欧地域でのセミナー開催、ロシアへのミッション派遣、個別企業訪問などの事業もスタートしております。

### (4. 日露中小企業交流の促進に向けて)

そして、今回の本ミッションの派遣を契機に、ロシアにおけるジェトロ事業を抜本的に強化してまいりたいと思います。

まず日本の中小企業のロシア進出に際し、東京のジェットロ本部及び36の国内地方事務所、ロシアの投資環境等につきの確な情報提供を精力的に行います。

その為にも、ロシアの中央及び地方政府並びにロシアの投資誘致機関とモスクワのジェットロ事務所との緊密な連携と我々に対する的確な情報提供を切に希望する次第です。

他方ロシアに進出したら、進出したで、中小企業は、進出先で、各種法令の変更や税務、労務問題、知的所有権の問題等で、様々の困難に直面すると思います。中国、ASEAN諸国の現地ジェットロ事務所が奔走しているように、モスクワ事務所も問題解決のため、フル回転する覚悟であります。同時にジェットロは、進出日系企業のこれら各種困難を体系的にとりまとめ、節目毎に日系企業の商工会と一緒にロシア政府当局に事実を伝え、投資環境改善の為の率直な意見交換をしまいたいと思います。

そして、これらを通じて、ロシアの投資環境がより改善されれば、それは、更なる海外からの投資を呼び込み、ロシア御当局のお役に立つことに繋がります。

これらの活動の過程で、ジェットロのモスクワ事務所の人員を拡充し、さらに必要があれば、新たな事務所の設置も視野に入れてまいりたいと思います。

また進出日系メーカーについては、部品材料の現地調達を増加を図るため、一方現地ロシアの部品材料メーカーにとっては、取引機会の拡大に寄与するため、部品材料展示会や各種商談会等、双方の出会いの場をジェットロが数多く創ってまいりたいと思います。既に中国等では、この種の大規模な見本市等を開催し、内外の関連企業はもとより、裾野産業育成や地域振興の観点から、地元政府などからも大きな評価をいただいております。

今回のミッションのフォローアップを含めまして、このような取り組みを今後ロシアにおいて円滑に実施していくため、ロシア側のカウンターパートである経済発展貿易省、サンクトペテルブルク市など地方自治体をはじめ、ロシア産業家企業家連盟などの経済団体との協力を一層強化してまいりたいと存じます。

その際中小企業の海外進出にあたっては、まず立地候補地の地元自治体に投資コンタクト窓口を設け、各種サービスの一元化、いわゆる「ワン・ストップ・サービス」の充実、第二に工業団地の造成や各種インフラ整備等の強力な支援、そして、第三に許認可手続きの簡素化と透明性の確保の三点が極めて重要であることをこの場をか

りて、関係者の方々に改めて強調しておきたいと思います。

近年におけるロシア経済の回復と「エネルギー大国」としての成長に心から敬意を表したいと思います。同時にこのような好調時にこそ国内製造業等の育成に更なる努力を傾注され、持てる潜在力をフルに発揮する好機ではないかと拝察いたします。

ロシアの製造業が国際競争力を強めていく為にも、また、海外からの大規模製造業の投資を促すためにも、地元が強力な裾野産業の存在が不可欠です。

その意味からもロシアにおける中小企業の育成はロシアの抱える大きな課題の一つといえましょう。この問題解決の為にロシア政府が的確な産業政策を遂行されるものと期待しています。同時に、先述した、日本の中小企業の対ロ投資の拡大やそれに伴うロシア中小企業とのジョイント・ベンチャーの締結、技術提携等は、ロシアにおける裾野産業の育成に大きく貢献することになると確信します。

#### ( 5 . ロシア企業の対日ビジネス関心へのサポート )

最後になりましたが、ロシア企業の対日投資を含めた対日ビジネス関心へのサポートについて申し上げたいと思います。ジェットロでは、2003年より外国企業の対日投資のためのサポートセンター（IBSC）を東京はじめ全国6箇所に設けており、2ヶ月間におよぶ事務所の無料による提供をはじめ、各種コンサルテーション機能など、さまざまなサービスを展開しておりますので、皆さん是非門をたたいて見てください。

最後に今回のフォーラムが実りあるものとなりますよう祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。